

北九州市民の会ニュース

第3回学習会「見て、聞いて、守ろう安全な街」 ～若松革新懇の活動紹介～

若松革新懇では、若松沖に洋上を含め100基もの風力発電のための風車が建設されるということを知り、内容を詳しく知りたいと5月に現地見学と出前講演を開きました。そこで、風車から出る低周波の人体や環境への影響が心配との声がだされ、9月に専門家を招き「低周波が人体にどのように伝わるか」「低周波の人体への影響」について学習しました。低周波音は人の耳には聞こえない音で地盤や大気・水中をはって人の耳に届く、長期間になると人体にさまざまな影響がでるが、空気の遮断などで防ぐこともできる。風力発電は原子力発電と違い人間が制御できるものだということでした。

さらにくわしく知りたいと開いた11月の第3回学習会では、環境省に出されたパブリックコメントの回答も聞き、これからの運動の方向を考えるきっかけになりました。環境省の回答は「低周波音は基準が存在しないし論文もない。聞こえない音は調査の対象にしない。影響があれば調査する。」というものでした。

環境アセスは、工事する業者がアセスのできる業者に依頼して、行政(国や市)はしていないことがわかりました。これでは住民の安全は業者の判断まかせになります。

2015年3月環境省は、北九州響灘地区を国の「洋上風力発電推進のモデル地区」に指定し、環境アセス期間が短縮され、洋上立地も行政が全面支援することになりました。事業者の公募はすでに終わったとのこと、行政は住民の安全なくらしを保障することが大事な仕事です。地域住民には何も知らせず環境調査も業者まかせ、こんなことで市民は安心して暮らせるのでしょうか。

地域にもっと知らせ一緒に考え安全安心の街づくりを進めていこうと話合っています。

(文責：三輪幸子若松革新懇事務局長)



平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail;koe@siminnokai.com

「子ども達にあたたかい学校給食を届ける会」 ～第4回総会・学習会開催～

12月4日(日)、会場は女性パワーの熱気が満ちていた。市役所内で連日の座り込みで要求闘争をした学嘱労・市職労が主勢力である「子ども達にあたたかい学校給食を届ける会」が第4回総会を開いた。総会前の記念講演では、「守ろう 心とからだを育てる学校給食」と題して竹下登志成さん(自治体問題研究所常務理事)がユーモアを交えながら「私たちに何ができるか、どこからやるか」を熱く訴えた。



総会では、経過報告、行動提起、会計報告、人事案が一括承認された。行動提起では、学校給食の民間委託を中止し、直営校を存続する等の要求項目を掲げた署名運動を継続して取り組んでいく提起が確認された。



確信と感動を与えた！伊藤真弁護士講演会

12月9日(金)、福岡県弁護士会北九州部会主催の憲法市民講座が開催された。講師は、日本の弁護士界において屈指の「憲法の語り手」である伊藤真弁護士だった。演題は「よくわかる！憲法のいま」。伊藤弁護士は、100枚以上のスライドを駆使し、論理明快、痛快・軽妙な話術で、すべての参加者に確信と感動を与えた。日本国憲法の世界的な価値が総合的に理解できたし、基本的人権と恒久平和を実現するという目標のために国民主権が手段としてあるという説明に、皆さん納得したのでないかと思う。講演に対する感謝の拍手が鳴りやまなかった。

今後の予定

- ・ 平和をあきらめない北九州ネット12.19集会
12/19(月) 18:00～ 小倉駅デッキ
- ・ 第222回さよなら原発金曜行動
12/23(金) 18:00～19:00 小倉駅デッキ
- ・ 第223回さよなら原発金曜行動
1/6(金) 18:00～19:00 小倉駅デッキ

北九州市民の会ニュース

事務局通信

地区労連ニュース

発行 北九州地区労働組合総連合
 連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号
 発行日 2016年12月 8日(木) No 号外



荒牧共同代表の開会あいさつ

「怒る富士」北九州公演、プレ企画&第4回実行委員会
 前進座俳優嵐圭史が「怒る富士」の魅力縦横に語る

2017年2月25日(土) 14時から北九州芸術劇場で公演される「怒る富士」を一人でも多くの方に楽しんでもらうために、「怒る富士」北九州公演実行委員会は、プレ企画として4回目の実行委員会に主演俳優である嵐圭史さんをお呼びし、トーク&朗読会を開催しました。

トーク&朗読会は、行橋の会の高橋さんの「嵐さんの生の声を聴ける喜びでいっぱいです。」との司会者あいさつに続いて、荒牧共同代表は、「公演成功のために嵐さんには何度もう北九州に足を運んでもらっている。今日のトーク&朗読会を契機に大きな運動を作り上げ、公演の成功を勝ち取りましょう。」とあいさつしました。

嵐さんは、トークの中で、「今回の「怒る富士」は、およそ300年前(江戸・宝永年間)の富士山大噴火という



嵐圭史さんのトークと朗読

大災害において、その復興をめぐっての自然と人間のたたかい、政治と被災地農民との葛藤、そして、命を賭けて復興を行った主人公川東郡代・伊奈半左衛門を描いた、感動に満ちた雄大な物語です。ご覧いただくことで、被災者だけでなく、私たちに大いに励まされ元気つけられることと思います。」と語り、また、嵐さんは「東日本大震災や熊本地震の被災地では今も多くの人が不自由な生活を送っている、また、安倍暴走政治の国民いじめが強まっている中、半左衛門のようにわが身を忘れて民に尽くせる人物が、今の世にも求められている。」と話しました。



チケット販売での目標達成を訴える江口事務局長

嵐さんの素晴らしいトークと平家物語の朗読に感動した参加者の拍手が鳴り響きました。

その後、江口実行委員会事務局長が、公演成功に向けた具体的な行動計画などについて提案しました。提案の中で「現在実行委員会には団体としての参加は50団体、個人としての資格で参加している人は、50人を超えた」「ポスター、チラシ、チケットなどの準備も終わり、いよいよチケットの販売活動に全力を挙げなければならぬ。」と提案しました。

実行委員会に50団体、50人の個人が参加
チケットの販売を急ごう



前田共同代表の開会のあいさつを行う

会場からは、「チケットの管理などはどうするのか。」「チケット代金を振り替えて行いたいけどどうしたらよいか。」「公演の参加目標1000人を達成するための具体的な方針提起が必要。」「事務局長を中心に、目の色をかえて取り組む姿勢が必要。」など、公演の成功をめざす立場からの発言が続き、みんなの力でチケットの販売目標を達成することが確認されました。

公演成功に全力を！
 事務局体制の強化を！